

BCLファンの情報誌 ABC 50's

No.13 Autumn 2023



秋葉原BCLクラブ

ABC 50's No.13 Autumn 2023

CONTENTS

ヨーロッパ私営短波放送局のベリカード	英国なんちゃってBCLおばさん	2
ベリカードの中の風景⑥ 静岡放送	金井昌行	14
朝鮮の声	今井 靖	15
BCL旅日記2022年7月～2023年3月	金井昌行	32
アンテナ用電線比較	伊藤昌浩	36
同調型シールドループの実験	佐藤弘敏	40
近況報告(と称するお詫び)	石崎亮史朗	41
会員からのお便り	横山雄樹	41
国会図書館に納本しました!	秋葉原BCLクラブ	42
新入会員募集のお知らせ	秋葉原BCLクラブ	43
表紙画像募集のお知らせ	秋葉原BCLクラブ	44
投稿募集のお知らせ	秋葉原BCLクラブ	45



受信証

呼出名称 とうきょうとじゅうさんごうち
位置 北緯 35°37.1' 東経 139°46.31'
電波の型式 H3E
周波数 1665KHz
空中線電力 5W
放送時間 午前5時から午後6時までの間に
おける毎奇数時45分から7分30秒間

〒140 東京都品川区東大井1-13-1
東京航路標識事務所
〒140 東京都品川区東八潮3-1
東京13号地船舶通航信号所

「とうきょうとじゅうさんごうち」のベリカード
【ベリカード提供者】Kazu Kobayashi氏

ヨーロッパ私営短波放送局のベリカード

英国なんちゃって BCL おぼさん

ふとしたきっかけから 2018 年に短波放送を聴き始め、自宅の台所にある夫の古いラジカセ (SONY CFM-23L) で聞こえる放送局に受信報告を送る「なんちゃって BCL」を続けています。

European, Private Shortwave Stations

June 1st 2023

Only legal stations are included. Most stations use low power, but a few use several kW. All times are given in UTC.
Abbreviations: D = Germany, DNK = Denmark, FIN = Finland, NL = the Netherlands, NOR = Norway
A.o. = and others, F.pl: future plan, Int'l = International, Irr. = Irregular, 24/7 = twenty-four hours a day, seven days a week
Mo = Monday, Tu = Tuesday, We = Wednesday, Th = Thursday, Fr = Friday, Sa = Saturday, Su = Sunday

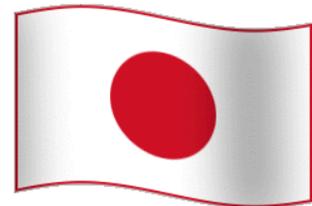
kHz	Country	Name	Transmitter site	Schedule (UTC)
3955	D	Radio Channel 292	Rohrbach Waal	Daily 0000-2000 & 2100-2400
3975	D	Shortwave Radio	Winsen, Aller	Daily 1700-2300
3985	D	Shortwaveservice	Kall-Krekel	Daily 1600-1900 (Radio Slovakia Int'l a.o.)
3995	D	HCJB	Weenermoor	24/7 (Segenswelle at night)
5895	NOR	Kysten / Radio Northern Star	Bergen	Daily 0459-1832 + occasionally on longer
5920	D	HCJB	Weenermoor	24/7 (Segenswelle at night)
5930	DNK	World Music Radio	Bramming	24/7
5940	NL	Radio Piepzender	Zwolle	Irr. (weekends) (main frequency)
5955	NL	Sunlite	Westdorpe	Daily 0400-1830
5970	DNK	Radio208	Hvidovre	24/7
5980	DNK	Radio OZ-Viola	Hillerød	We 2100-2200
	FIN	Scandinavian Weekend Radio	Virrat	F.pl.
6005	D	Shortwaveservice	Kall-Krekel	Daily 1000-1530 (Radio Slovakia Int'l)
	NL	Radio Delta International	Elburg	Su 0600-1000
6020	NL	Radio Casanova International	Winterswijk	F.pl. 0600-1500
6055	DNK	Radio OZ-Viola	Hillerød	Sa-Su 1100-1300
6060	NL	Radio Delta International	Elburg	Irr. 1500-2100
	NL	Radio Casanova International	Winterswijk	F.pl. 1500-0600
6070	D	Radio Channel 292	Rohrbach Waal	24/7
6085	D	Shortwaveservice	Kall-Krekel	Daily 0700-1700 (Radio MiAmigo Int'l)
6115	D	Radio SE-TA 2	Gera	
6130	NL	Radio Europe	Alphen a/d Rijn	24/7
6140	NL	Radio Onda, Belgium	Borculo, NL	F.pl.
6150	D	Europa 24	Datteln	Irr.
6160	D	Shortwave Radio	Winsen, Aller	Mo-Sa 1500-2200; Su 0700-2200
6170	FIN	Scandinavian Weekend Radio	Virrat	June 2 nd ; 2100-2400 & June 3 rd ; 0000-2100
6185	NL	Radio Piepzender	Zwolle	Irr. (last Sunday of the month)
7260	NL	RockPower	Nijmegen	Usually approx 0830-1200
7270	NL	RockPower	Nijmegen	Usually 1200-approx 1930
7365	D	HCJB	Weenermoor	Daily 0300-2100 (Segenswelle in Russian)
7405	NL	Radio Piepzender	Zwolle	Irr. (main frequency)
7425	NL	Radio Piepzender	Zwolle	Irr. (alternative to 7405 kHz)
9530	NL	Radio Onda, Belgium	Borculo, NL	F.pl.
9670	D	Radio Channel 292	Rohrbach Waal	24/7
11670	NL	Radio Delta International	Elburg	Su 0600-1000
11690	FIN	Scandinavian Weekend Radio	Virrat	June 2 nd ; 2100-2400 & June 3 rd ; 0000-1800
11720	FIN	Scandinavian Weekend Radio	Virrat	June 3 rd ; 1800-2100
13720	NL	Radio Delta International	Elburg	F.pl.
13865	NL	Radio Piepzender	Zwolle	F.pl.
15700	DNK	World Music Radio	Randers	Sa-Su 0600-2200 & irr. at other times
15785	D	BitExpress	Erlangen	24/7 (Funklust) (DRM)
17515	NL	Radio Piepzender	Zwolle	Reserve frequency
18925	NL	Radio Piepzender	Zwolle	F.pl.
25800	DNK	World Music Radio	Mårslet, Aarhus	24/7

This list is published by Hartvig Media ApS at the beginning of each month - based on details supplied by some of the stations, stations websites, monitoring observations, HFCC registrations, and some presumptions. The list is not copyrighted and may be published everywhere. Subscription by e-mail is free; write to shn@hmr.dk.

Hartvig Media ApS が毎月初めに発行している「ヨーロッパ私営短波放送局一覧表」(上の写真は 2023 年 6 月のもの)をしばらく前から目にするようになりました。そこで今回は、この表に載っている放送局から今までにいただいたベリカード(ほとんどは E ベリカード)をご紹介することにします。

ベリカードに記載された氏名・住所などの個人情報は消しています。画像の縮小率はまちまちです。

<Radio Channel 292>



受信日時：2019年7月11日 15時20分～16時00分 (UTC)
 周波数：6070 kHz 送信地：Rohrbach Waal (ドイツ) 受信状態：SINPO=35333
 放送内容：音楽 (ポップ、ロックなど)
 受信報告書送信日：2019年7月13日 Eベリカード返信日：2019年7月15日

返信メールによると、個別のベリカードは発行していないということでしたが、上の画像3点を添付していただきました。日本国旗は風にはためいているかのように動く画像でした。

<Radio SE-TA 2>



受信日時：2020年9月1日 18時00分～18時30分 (UTC)
 周波数：6115 kHz 送信地：Hartenstein (ドイツ) 受信状態：SINPO=35222

放送内容：音楽

受信報告書送信日：2020年9月2日 Eベリカード返信日：2020年9月11日

詳細は覚えていないのですが、Eベリカードの記載によると何らかの試験放送だったようです。冒頭の一覧表によると、現在（2023年6月）この周波数での送信はGera（ドイツ）から行われているようです。



受信日時：2020年10月3日 10時00分～11時00分（UTC）

周波数：6095 kHz 送信地：Nauen（ドイツ） 受信状態：SINPO=55444

放送内容：「Let's Go Rock 'n' Roll」

受信報告書送信日：2020年10月4日 Eベリカード返信日：2020年10月5日



受信日時：2021年4月3日 10時00分～11時00分（UTC）

周波数：6165 kHz 送信地：Nauen（ドイツ） 受信状態：SINPO=55555

放送内容：「Let's Go Rock 'n' Roll」

受信報告書送信日：2021年4月4日 Eベリカード返信日：2021年4月7日

6095 kHz で放送するはずだったのに、送信所のミスで 6165 kHz での放送になったそうです。記載された敬称が「Herr」なのは、男性が圧倒的に多い BCL あるあるですね（笑）。

<Radio Europa 24>



受信日時：2020年10月16日 15時10分～15時45分 (UTC)

周波数：6150 kHz 送信地：Datteln (ドイツ) 受信状態：SINPO=45343

放送内容：ニュース、音楽

受信報告書送信日：2020年10月19日 Eベリカード返信日：2020年10月19日

<Radio Delta International>



受信日時：2021年2月14日 11時10分～11時55分 (UTC)

周波数：6020 kHz 送信地：Elburg (オランダ) 受信状態：SINPO=45444

放送内容：音楽 (ポップ、ロックなど)

受信報告書送信日：2021年2月15日 Eベリカード返信日：2021年2月15日



放送局ロゴの画像をおまけにいただきました。



受信日時：2022年8月12日 19時45分～20時15分 (UTC)
 周波数：6005 kHz 送信地：Elburg (オランダ) 受信状態：SINPO=45444/44444
 放送内容：音楽、リスナーからのお便りなど
 受信報告書送信日：2022年8月13日 Eベリカード返信日：2022年12月24日

ロゴにある周波数とは違う周波数で聞こえたので、受信報告書を送ってみました。返信いただくまでにかかなり時間がかかったのは、ご病気をされていたからとのことでした。

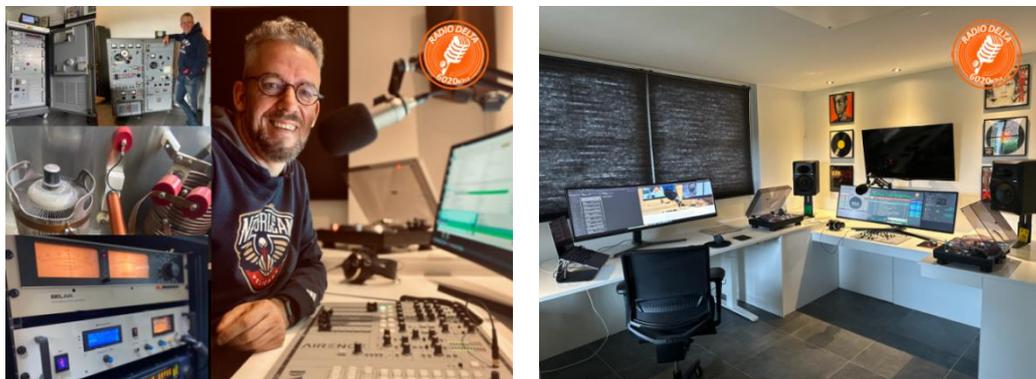


2枚の画像と、放送局ロゴの画像（前回と同じなので省略）をおまけにいただきました。



受信日時：2023年4月15日 17時45分～18時20分 (UTC)
周波数：6060 kHz 送信地：Elburg (オランダ) 受信状態：SINPO=45232
放送内容：音楽 (ポップ、カントリー、ロック、クラブなど)
受信報告書送信日：2023年4月16日 Eベリカード返信日：2023年4月16日

また別の周波数での放送が聞こえたので、受信報告書を送りました。返信メールによると、試験的な放送だったようでした。



2枚の画像と、放送局ロゴの画像 (省略) をおまけにいただきました。最近 (2023年6月) ロゴが変わったので、Eベリカードのデザインなども変更されると思います。

<Radio Piepzender>



受信日時：2021年7月2日 18時55分～19時40分 (UTC)
周波数：6185 kHz 送信地：Zwolle (オランダ) 受信状態：SINPO=45343
放送内容：音楽 (クラブ、ポップなど)
受信報告書送信日：2021年7月3日 Eベリカード返信日：2021年7月12日



別の周波数用の E ベリカードの雛型の画像をおまけにいただきました。



受信日時：2022年5月22日 19時38分～20時09分 (UTC)
周波数：6130 kHz 送信地：Zwolle (オランダ) 受信状態：SINPO=44433
放送内容：音楽 (ポップ、クラブ、ポルカなど)
受信報告書送信日：2022年5月23日 E ベリカード返信日：2022年6月28日

周波数がわからなかったなので、受信報告書には「6140 kHz (?)」と書いたのですが、見事にはずれました (笑)。



送信設備の画像をおまけにいただきました。



受信日時：2022年8月24日 19時13分～19時50分（UTC）

周波数：6185 kHz 送信地：Zwolle（オランダ） 受信状態：SINPO=35322

放送内容：音楽（ポップ、ロック、ポルカなど）

受信報告書送信日：2022年8月25日 Eベリカード返信日：2022年9月10日



他の周波数用のEベリカードの雛型の画像をおまけにいただきました。



受信日時：2023年1月21日 17時08分～17時46分 (UTC)
 周波数：5940 kHz 送信地：Zwolle (オランダ) 受信状態：SINPO=45444
 放送内容：音楽 (ポップ、ロック、ポルカなど)
 受信報告書送信日：2023年1月22日 Eベリカード返信日：2023年2月11日

これまでとは違う周波数で聞こえたので、受信報告書を送ってみました。Eベリカードの記述によると試験放送だったようです。受信状態の記載に間違いがありました。

<Radio Onda>



受信日時：2022年3月11日 13時13分～13時55分 (UTC)
 周波数：6140 kHz 送信地：Borculo (オランダ) 受信状態：SINPO=45333
 放送内容：音楽 (ラテン、ポップス、ロックなど)
 受信報告書送信日：2022年3月12日 ベリカード到着日：2022年3月22日

ベルギーのブラジル協会 (?) による放送局。3月14日に「後日ベリカードを郵送する」という返信メールをいただいていた。

<Radio Europa>



受信日時：2022年3月13日 17時03分～17時36分 (UTC)

周波数：6170 kHz 送信地：Alphen a/d Rijn (オランダ) 受信状態：SINPO=45433

放送内容：音楽 (クラブ、ポップなど)

受信報告書送信日：2022年3月14日 Eペリカード返信日：2022年3月15日

その後、周波数は6130 kHzに移りましたが、最近 (2023年6月) また6170 kHzで聞こえています。



画像3点をおまけにいただきました。

E-QSL LETTER
sunlite
SOFT & EASY

Thank you for your reception report.
This E-QSL Letter confirms that you've been listening to us.

Name: _____
E-mail: _____
SDR? _____
Country: _____ *uk*
Time: _____ *17:42-18:14 UTC*
Date: _____ *May 22nd 2022*
Frequency: _____ *5955 kHz*

Sincerely,
(QSL-manager) *Herbert Visser*

Sunlite is a radio station owned and operated by the Dutch mediacompany RadioCorp, based at "de Hofsteede" in Naarden, the Netherlands. Sunlite can be heard in the Netherlands on DAB+, cable, IPTV and online, as well as on shortwave.
www.sunlite.nl

受信日時：2022年5月22日 17時42分～18時14分（UTC）

周波数：5955 kHz 送信地：Westdorpe（オランダ） 受信状態：SINPO=35333

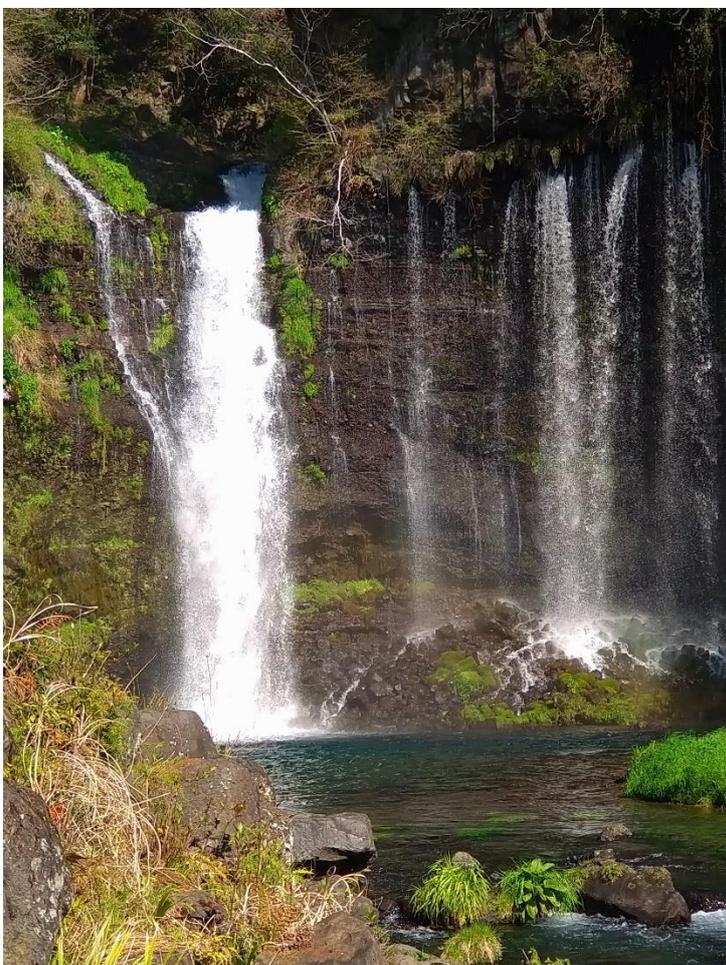
放送内容：ポップ音楽

受信報告書送信日：2022年5月23日 Eベリカード返信日：2022年5月30日

以上です。（周波数がわが家のラジカセの守備範囲外の放送局、受信は不可能だろうと思われる放送局なども含めて）未受信の放送局や、受信報告書は送ったけれども返信をいただけない放送局などがありますが、「いつか受信できたらいいな～、ベリカードがもらえたらいいな～」と思っています。ゆるゆる楽しみたいです。

ベリカードの中の風景 6 静岡県富士宮市 静岡放送

金井昌行



幅 150 ㍎の湾曲した絶壁から流れ落ちる姿はまさに白い絹糸のよう。

毎秒 1.5トンの水が湧き出ているがその多くは富士山の雪解け水という。

国の名勝及び天然記念物に指定されていて、世界文化遺産富士山の構成資産の一つでもある。

ベリカードをよく見ると、滝つぼの水面でピアノを弾くピアニストの姿が見えるが、実際にはいなかったのがご安心を。

(2023年3月30日訪問)

2021年4月に千葉県富津市、房総半島のほぼ中央部で昼間に1404kHzで受信していただいた静岡放送のベリカード。静岡から約150㍎、その間ほぼ海上のためかまずまずの状態を受信できた。

カードには特に記載されていないが、静岡県の名所白糸の滝の写真が使用されている。

静岡県東部、JR身延線の富士宮駅から路線バスで約30分。「白糸の滝入り口」バス停で下車して、案内看板に従い100段ほどの急な階段を下りる。そこで目の前に現れたのが、天下の名瀑として名高い白糸の滝。高さ20㍎、



朝鮮の声

今井 靖

時間に急かされているとばかりのボールペンによる殴り書きで、私の住所が記されている一通の封書が手元にある。だけれども殴る文字は迷いが無い上に、それなりの躍動感もある。担当者はかなり日本語に精通しているように思えるのだ。

差出人は「朝鮮民主主義人民共和国 ラジオ、テレビ放送委員会」

放送委員会の住所は片仮名で「ピョンヤン」のみ。2015年の6月末に「朝鮮の声 日本語放送」を聴いて送った受信報告書に対する「祖国解放戦線勝利記念館」の全景を写したベリカードと、三つ折りの7月11日付けタブロイド版新聞『The Pyongyang Times』が同封されていた。

日本と北朝鮮の関係から茶色い更紙の封筒は税関で開封されていて、法に触れる代物が隠されているのかいないのかを、きちんとチェックされた上で届けられている。これは日本国として当然に行うべき特別な北朝鮮輸出入禁止措置なので「信書の開封は個人のプライバシーを侵害」などと、つまらぬ腹を立てる気は毛頭ない。

およそ8年前に一度だけ、まともに聴いた放送のプログラムを記録したログノートを見返せば、意外にも内容は現在の放送とあまり変わりがないようだ。

「不滅の革命讃歌」を「ひみつのかくめいさん歌」と聞き間違えて、ノートにメモってるところなんざ御愛嬌だが、重大なニュースが無い限りは少なくとも1時間のうちの半分を、たっぷりと歌謡や楽曲の紹介に費やす。こうなれば「朝鮮の声放送 Voice of Korea」でも「朝鮮の歌放送 Songs of Korea」でも、どちらでもよろしいようには感じる。

受信報告書と一緒にお便りも添えた。「ベリカード下さい」は図らずも先様の手をわずらわせるもので、報告以外のプラスアルファを加えるのは多少でもそれが礼というものだろう。ただ、北朝鮮という彼の国が彼の国で在るが故に何を書くのかには大いに迷った。歌に興味を引かれることもなかったし、実情バレバレであるニュース報道の内容についても書く気が全く起きない。

「黙して語らずも礼儀のうち」いっそのこと本心を隠し、報告に徹して余計な言は省こうかとも思いはしたが、やはりそれでは気が済まず落ちつかないので書いた。

「とても良く聞こえました。だって北朝鮮と新潟は日本海を挟んで近いですからね」

無邪気にそんな低能じみた事を書いたか、手紙の文例集を引っ張り出して丸ごと引き写したか、下書きが残っていないので今はもうすっかりと忘れてしまった。

令和5年、西暦2023年、主体暦チュチェ112年の1月1日より「朝鮮の声放

送 日本語」を真剣に聴き始めた。秋葉原 BCL クラブの会報『ABC50s』に投稿する為と云ってしまえば身も蓋もないのだが、これは本心でもある。なぜなら過去ではなく今の「朝鮮の声」を聴いて、言及するブログや SNS はあまり見当たりはしない様子。北の放送を熱心にリスニングするのは昔ならいざ知らず、今の世にも聴いていることを公言するのは、いささか憚れる昨今だ。

日本語放送を日本に向けて電波を飛ばす国は「チャイナ」「ベトナム」「モンゴル」「タイ」「台湾」「韓国」「北朝鮮」(無理にインドネシアは含めなくてもよいでしょう)この中で、もっとも危険な香りを辺りに撒き散らかす北朝鮮の「朝鮮の声」は、つつい避けてしまいがちだがそれではいけません。一人勝手に受けて立ちます。

しかし放送を聴いて、周波数や受信状況、放送の歴史、アナウンサーは誰です。ニュースの見出しや流される曲目を列記するだけの、BCL 情報を書く気は少しもない。

今現在の放送を聴いて私が何を思ったのか感じたのか、それを独善と云われようが間違っていると非難されようが少しも構いはしない。市井の片隅にひっそりと棲息する、無名の一個人である私が自由な主観で書く。

1 時間の「朝鮮の声」を聴いて感じたのは、放送の内容を貫く三つの要素「主体思想(チュチェ思想)」「思想宣伝(プロパガンダ)」「金ファミリーの神格化」

この三要素について言及をしないわけにもいかないだろう。根幹を成す社会主義、共産主義についても避けて通れまい。だから今回の寄稿はかなり BCL から外れるアタックな内容であるが、北朝鮮という国がそもそも建国以来より攻撃的な国なので、これはもう仕方のない事情なのだ。

まず初めに、私は社会主義及び共産主義に否定的な人間であることを断って置かねばならぬ。それでも原始共産制なら肯定をするのだが。

マルクス・エンゲルスの説いた思想は前近代の封建制度、産声を上げたばかりの資本主義社会の中では、抗えぬ運命とばかりに苦しむだけの大衆の耳元に囁く甘い蜜であったのだろうが、主義に忠実であればあるほど、激辛をたつぷりと味合わされる地獄の体制となって人民に襲い掛かる。これは誰が何を云おうとも歴史が証明している。

社会主義の発展した共産主義が訪れた国の人民は、財産の格差もなく不公平もなく、そうなれば諍いも恨みもなく、理想郷という名のみんなが等しい生活水準を授かれるのだという。ただし副作用と呼ぶにはあまりにも悲惨な、人間であれば誰もが欲する自由を全て国家に差し出して、指導者の鑄型に嵌め込まれる不自由を無制限に受け入れられるのならば。

強権によって自由を奪われ国家の指導に従い、ただ生かされるだけの悩み苦しみを辛さを訴えたって、国家はお互いを分かり合うまでの話しになど応じてくれない。

【マルクス及びレーニン主義は正しいのです。我々は正義です。誤謬はありません。それで不満があるのなら、それはあなたが悪いのです。罰を与えま

しょう。隔離もしましょう。それ以上に目に余ると判断すれば殺します。手っ取り早いから殺します。聞き分けの良い人民は他にたくさんいますから、何人殺そうがこちらは痛くも痒くもありません】

現在、社会主義国であるとはっきり看板を掲げて赤い旗を振る国は、今となってはたったの五か国。「チャイナ」「ベトナム」「キューバ」「ラオス」「北朝鮮」あの「ソ連」は勝手に自滅。そんなに良い体制なら黙っていても増えこそすれ減るはずがない。それに、これらの国々は社会主義国から理想とする共産主義国家への移行の努力を、とうの昔に放棄してしまったように思える。

あなたがそう思うのは「今はまだまだ共産主義への過渡期だから」「これらの国々は高度な資本主義を経験する前に社会主義国になったから」

そんな言い訳は勘弁だぜ。共通するのは何を置いても死守すべきが独裁。私にはそれしか見えない。それでも北朝鮮はまあまあ今でも頑張っているほうなのかな？

まずは1時間の番組である「朝鮮の声 日本語放送」の放送スケジュールをチェックすることから始めた。朝6時から9時まで前日の再放送を3連発。間を置いて夕方4時から夜10時まで6連発。毎日9時間の放送は「CRI 日本語放送」の一日8時間を上回っている。

「よくやった！」何にせよ勝たなければ気が済まない將軍様の得意顔が目に見えぬ。

一日でこれだけ電波を飛ばしてくれれば、聴取の時間帯を選択するのはとても楽だ。朝の時間帯は？爽やかな朝から聴くのは少し憂鬱な気分だ。まだ眠いし。やはり夜がいいか？短波受信を楽しむのは夜から早朝の間と相場が決まっているのではないか(嘘)

闇に覆われる時間帯は聴衆の心理に影響を及ぼしやすいと、アドルフ ヒトラーの演説は好んで夜に行われたという。やはり危険だ。となれば夕方の時間帯に聴くしかない。これなら仕事があってもなくても私は必ず聴くことができる。

時間帯による短波の伝搬状況が気になるころだが、な～に、周波数が三つも四つも念入りに用意されてるもんだ、何時であろうがどれかは必ずヒットするさ。

ただ、スケジュール表を見てよく分からなかったのが第1サイクルと第2サイクルの表示。サイクルとは「循環過程。周期。また、その度数。振動数(周波数)の単位。自転車」ナニコレ？循環と振動によって放送の中身がまるっきり変わるという意味なら、両方たっぷり2時間は聴かねばならない。これはヘヴィー。でも聴き比べてみれば何のことはない。「これでもか」とばかりに届けられる北朝鮮の楽曲と、曲間で唐突に紹介される四方山なお話が変わるだけ。要するにどちらかをお好みで聴けば良いのだと知って安心しました。

IS、ID、そして国歌が1分ほど流された後に「リスナーの皆さん、ただ今から朝鮮民主主義人民共和国の首都ピョンヤンからお送りする日本語放送を始め

ます」アナウンスの女性はここで一拍、間を置いて居住まいを正すと、ひときわ張りのある声？で「不滅の革命讃歌 『金 日成将軍の歌』を紹介します」

鬼籍に入られた将軍はもう一人いるので引き続き「不滅の革命讃歌 『金 正日将軍の歌』を紹介します」

ここで突然イントロクイズ！ ①と② どちらが『金 正日将軍の歌』のイントロでしょうか？

- ①「チャ～チャ～チャッチャッチャッチャッチャッ チャカチャカチャッ、タ～リラ～ン チャンチャンチャンチャ～～～ン♪」
- ②「チャッ チャ～ン、チャチャチャ チャッチャ～ン、チャチャチャ ティ～ラ～リ～ラ～リ～～～♪」

正解は① 「朝鮮の声」を何度か聴いたことのあるリスナーには、簡単な問題でしたね。

しかし曲は良いと思う。堂々たるものだ。迫力と勢いがあるし覚えやすい。というか覚えちゃうなあ。生演奏をコンサート会場で聴いたらかなり圧倒されることだろう。

秋葉原 BCL クラブ会員の某氏は「職場に向かう車のラジオでこの曲を聴くと『今日も朝からやってやろうじゃねえか』って気分になるね」とおっしゃっていたが分かります。分かりますとも。腎臓にへばり付いてる副腎からポタリポタリと、アドレナリンが活発に分泌されるのが私にも分かりますから。

「くそ～～！『将軍の歌』に勝るとも劣らぬ讃歌は日本になかったか？」あります。もちろんありますとも。皆さんもご存じのあの歌が。

「不滅のビジネスマン讃歌『勇気のしるし ～リゲインのテーマ～』」

脳内で鳴らすも良し！ユーチューブで視聴するも良し！
アドレナリンとリゲインの相乗効果で24時間戦えますか？

この日だけは雑誌のように重たい新聞をバラして眺め、売れている芸人も売れなくなった芸人もバカ騒ぎするテレビを観つつ、朝からおせち料理と日本酒をちびちびと召しているだけの怠惰な元日。アルコールで濁った頭のまま、夕方からの「朝鮮の声」に周波数を合わせた。

将軍の歌が終わればニュースが始まる。たっぷりと30分以上は途切れることなくニュースが読まれた。いつ終わって次のコーナーに移るのか？ず～っと待っていたが放送の最後までニュース。お堅いニュース。息つく間もなく続くのでトイレにも行けやしない。

- ・「朝鮮労働党中央委員会 第8期第6回総会 第1議案から第5議案の報告」
- ・「600mmスーパーロケット砲の贈呈式」

- ・「新春を祝う大公演を鑑賞する金 正恩将軍」
- ・「世界中の国々から新年を祝うメッセージや年賀状を頂戴しました」
- ・「将軍がキューバに祝電と花束を贈りました」

600mmスーパーロケット砲？スーパーロボットみたいにアニメチックな名称に「たいした兵器でもなかろう。軍への引き渡しに贈呈式とは大げさな」

あまり意に介さなかったのだが、すぐさまネットニュースで大騒ぎ。続いてテレビで大騒ぎ。1月3日になってようやく新聞でも大騒ぎ。

正体は韓国攻撃用の「口径 600mm超大型放射砲」

韓国全土を射程に収め、戦術核も搭載可能な多連装ロケット砲。今年は朝鮮戦争休戦 70 周年の節目となる年だが、将軍の思いつきでお屠蘇気分も味わえない軍人たちは、大晦日も元日の丑三つ時にも短距離弾道ミサイルを発射。

「あくまで休戦であり停戦ではない。よもやお忘れではないだろう？」戦争の再開はいつでも OK という冷徹な事実を再確認させてくれる。

しかし儒教の影響が色濃く残るお国柄なのか、頂いたものに対するお礼は欠かさないようだ。年賀状や祝文の送り主を読みあげていた。

「世界中の国々と我が国はととも仲が良い」これ対外宣伝に務めている訳だが、意外に礼儀正しいとの評価もしてあげるべきか。

そして、おめでたい元日放送のラストを締めくくるのはこの一曲。ムード歌謡調のイントロがカラオケ好きには堪らないはずだ。歌のタイトルはずばり『我が金が 正恩同志』

「明日も明後日もこんな調子で放送を聴いたら疲れるだけだもん、聴くの止めちゃおうかな」

危惧していたが翌日からは通常モードでひとまず安心。通常モードとは放送開始から『金正日将軍の歌』までが約9分。ニュースが5分前後。残りの時間でたっぴりとプロパガンダ歌謡などを8曲前後紹介。ただし曲の途中で色々なテーマのお話が一つ挟まれる。1時間の放送にしてはあっさりとしたプログラムだが、それでも聴き終えた後はくたびれる。

その最大の理由が放送で頻繁に使われる、普段では聞き慣れない用語とその用法。

「革命」は余りにもポピュラーな単語で、キャプテンハーロックのいで立ちが様になるピン芸人、ゴー☆ジャスが掴みで一発。

「君のハートにレボ☆リューション！ ゴー☆ジャスで～す！」

お笑いのネタにも使われるほど人口に膾炙しているので気にならないが「不滅」は今までの人生で一度も口にしたことはないと思う。意中の女性に告白する時に、「あなたへの愛は永久に不滅です」なんて真顔で言いませんよねえ。

金正恩一人に付く肩書だって「朝鮮労働党総書記」「朝鮮民主主義人民共和国国務委員長」「朝鮮人民軍最高司令官」他にも「将軍」「元帥」「同志」「首領」放送の中だけでもこれらの呼称が使われていた。メモし切れなかっただけ

で、もっとあるのではないか？どれか一つに絞って欲しい。
読みあげるニュースの内容も以下の調子。

- ・「不朽の著書『我が国の青年運動を新たな高い段階へと発展させよう』は、党の青年を青年前衛に育てるための課題と方途が明示された、国防委員長(国防は金正日を指す)の綱領となる著作です」
- ・「各国の人が祝電や祝賀の手紙で、敬愛する金正恩総書記の秀でたリーダーシップを熱く称えました。エジプト自由社会主義党副委員長は、『金正恩総書記は正しい指導で2022年朝鮮の発展と人民の復興をもたらした。その老練な指導力はチュチェの社会主義の全面的発展の為に確たる保証だ』と述べました。ロシア平和統一党委員長、ハンガリー労働党委員長、エジプト社会主義労働党委員長をはじめ諸政党の党首も、『2023年は朝鮮人民がヒロイズムの叙事詩を綴る年になるだろう。世界で最も偉大な金正恩総書記がいて、朝鮮人民の未来はいつまでも明るい』と述べました」
- ・「革命家の遺児教育の最高学府である『マンギョンデ革命学院』と『バンソク革命学院』への朝鮮労働党の深い愛情は今も続いています。革命学院の生徒たちが革命の中核の中核に育って、革命の血脈を引き継ぐよう、その成長に深い関心を向ける偉大な党中央は、学院創立記念行事を盛大に催して、75年の発展の道のりを・・・(以下省略)」
- ・「敬愛する金正恩総書記が、チュチェ112年の新年の祝電で示した重要課題を実行するための朝鮮総連の活動家の集いが1月20日、東京の朝鮮会館でありました。総連中央常任委員会ホジョンマン議長とパククホ第一副議長兼組織局長、各副議長、総連中央と中央団体事業体の活動家、在日朝鮮人歴史研究所所長、関東地方の各本部長、各学校の校長が集いに参加しました。(中略) 総連の活動家は皆、総書記への絶大な忠誠心で胸を燃やし、めでたい今年に総連の本領を一層強く発揮し、愛国活動全般を確実に上昇させて、主体的な在日朝鮮人運動の歴史に栄光の一ページを添える為に邁進しようと述べました」

上記に示したニュースは、まだ読みやすいほうの例として挙げた。たまに「百歳を超えた長寿のおじいさんに将軍様から記念品が贈られた」「ソンドウォン国際少年団キャンプ場で冬のキャンプが始まりました。(テント張るキャンプではなく、課外教育の合宿という意味)」などと、やや微笑ましいニュースも混ざりはするが、もっといかめしく修辞されたニュースを他に数多く聴かされた。

「世界のあちこちから、将軍様と人民を礼賛する新年の祝電や手紙が舞い込んで嬉しい悲鳴をあげています」1月の放送を聴いているからなのか、そんなニュースも頻繁だ。誰から届くのか？その一部。

「スペイン人民共産党中央委員会国際担当書記」「パキスタン朝鮮友好及び連帯委員会委員長」「スウェーデン チュチュエ思想研究会会長」「ネパール マルクスレーニン主義共産党中央委員会書記長」「イタリア平和と社会主義運動書記長」「クロアチア社会主義労働党国際担当部長」「金 日成 金正日基金理事会共同理事長」「ルーマニア民族社会主義党最高理事会委員長」「南アフリカ金日成 金正日主義研究会全国委員委員長」、etc.

肩書があまりにも重々しくて、それが逆に面白いのでメモしていたのだが、全部を書いたら半ページが丸々埋まってしまう。これをご丁寧にも放送で延々と読み上げる。喋っているほうはどう思っているのか知らぬが、聴いているほうはたまったものではない。

それにしても主義者はどうしてこうも肩書が長くなるのか。偉そうに見えるから？こういう立場の人間はきっと他の役職も兼任していることだろう。裏表にびっしりと役職名を書き込んでも、きっと名刺一枚には収まりますまい。

- ・「石炭鉱業部門で新年初日から増産に励んでいます」
- ・「水力発電所で電力の増産に励んでいます」
- ・「人民経済の生産者、労働者が生産に励んでいます」
- ・「林業部門で成果が目立っています」
- ・「軽工業部門で成果が達成されています」

国の発展を示す経済活動のニュースも多いが(上記はその見出し)、具体的な数値などはほとんど示されない。口先だけなら何とでも云える。経済ニュースは数字が重要な鍵ではないか？

「励む」「増産」「成果」「増大」「達成」「奮闘」・・・。勇ましい言葉で締めくくるばかりだ。

「北朝鮮は地上の楽園」と、日本のマスコミ、大学教授、文化人らの嘘や虚構で持て囃された時代ならいざ知らず、今でも白々しいこんなニュースを臆面もなく垂れ流すのは、彼らの身になれば仕方がないとは言え、聴いていて本当に疲れる。

とにかく「朝鮮の声」のニュースを聴いて思ったのは、北朝鮮の人民が娯楽やレクリエーションに興ずる、または彼らの風俗など親しみを感ずる報道がほとんど無いこと。

「国中が小正月で賑わいました」「舞踏会が催されました」「各地で多彩なスポーツ大会が開かれました」「リャンガン道 サムジョン市の雪の彫刻」

一か月強を聴いてそれらしいのはこのぐらいだ。

「朝鮮少年団の子供たちが将軍と記念写真」「青年学生の白頭山革命戦跡地巡り」は、やはり娯楽ではないだろう。

「子供たちがウルトラマンと記念写真」「鉄道マニアがスタンプラリーで駅巡り」は娯楽だけだ。

「励む」から「奮闘」までの言葉で人民が朝から晩まで、お国のために働かされている様子は伝わるのだが、放送を聴いているだけでは一般人の生活状況は窺い知れぬ。

北朝鮮に旅行した人はいるから尋ねれば分かるとも思うが、たぶん無理だろう。せいぜい、庶民の姿や立ち居振る舞いを見学地や移動の際に眺めるぐらいか、たまたま二言三言の会話をする程度と想像する。

北朝鮮は見せたい所にだけしか連れて行かないし、ガイドという名の監視役が複数付いて観光客を見張る。人民の暮らしぶりを当局のガイド兼監視に尋ねたところで、正直な答えを期待するだけ無駄というもの。もっともあの手この手で籠絡して、酒もガンガン飲ませて質問攻めにしたら、あるいはポロリと本音をこぼすかも知れない。

ガイドは日程のタイムスケジュールを厳格に守るそうだし、旅行者に自由行動なぞ許さない。盗聴がなされているとしても、自由を得られるのはホテルの部屋で寛ぐ時ぐらいかな？

もしも間違っただけで予定にない一般人と濃密な交流があれば、それはもう事故扱い。見て見ぬふりをしてそれを許せば、ガイドは厳しい処罰を受けるはずなので彼らも必死だ。知りたければ北朝鮮関連の本を読むか、脱北者の証言に頼るか、ネットニュースでお馴染みの「北朝鮮情報専門サイト「デイリーNK ジャパン」」の閲覧か。見出しだけでもお見せしましょうか。

- ・「教育は無償のはずなのに登校できない北朝鮮の子供たち」
- ・「ついに庶民から外貨を『カツアゲ』・・・追い詰められた金正恩」
- ・「金正恩『網タイツ禁止令』で北朝鮮女子の命がけファッション」
- ・「保育士が園児の弁当を『つまみ食い』・・・北朝鮮の食糧難が深刻」
- ・「『死刑にされたらたまらない』北朝鮮の若者たちが猛勉強を開始」
- ・「北朝鮮『韓流を流通させたら死刑』反動思想文化排撃法の全文公開」

刺激が強いのでここいら辺で止めときましょう。主に北朝鮮国内の内通者や協力者から携帯電話で情報を得ているようで、記者が自分の目で見て、あるいは決死の潜入取材によって記事を書かれているようでもないので、北朝鮮の民主化を願う編集長 高 英起さんの熱意が、少々バイアスの掛かった大げさな記事に仕立て上げているとの疑念も拭いは切れないが。

ニュース報道の中で「これは面白い」と感心したのは一つだけだった。

「党中央委員会第8期第6回総会が示した雄大な闘争方略の実行と、人民みなを呼び起こすポスターを制作しました」

このニュースを聴いて面白いと感じたのではない。さすがにそれはない。

「朝鮮の声」のホームページで、新作のプロパガンダポスターを見せてくれたからだ。

チョソングル(北朝鮮ではハングルと呼ばないそうですね)のスローガンも力強い、製鉄、エネルギー、林業、鉄道、建設、農業、最後に漁業のポスターが14枚。漁業なんてスケソウダラが獲れ過ぎて網がパンパン。

ベトナムは今もプロパガンダポスターを盛んに制作しているし、街中でプロパガンダアートを目にするのはごく普通の風景らしい。「ベトナムの声」の放送で「プロパガンダポスターを手描きする画家」が紹介されているのを聴いた

覚えもある。手描きからデザインソフトに変化しても、あの独特のタッチと色使い、表現方法は変わらない。だが、目にした新作ポスターは違う。

背景に目立つチョソングルのスローガンと、イラストによる製鉄所や発電所、森林や電車など。手前には主体となる男女労働者のイラスト……ではなく、労働者に扮したモデルさんのキレイな写真。労働者だけリアルに写真。写真とイラストの融合。

写真スタジオで張り切ってポーズを取るモデルさんたちは力が入り過ぎたのか、誰も彼も真剣極まりない表情で、あるいは満面の笑みで白い歯もこぼれる。

「辛い労働も楽しくて楽しくて家に帰りたくない」国家の理想とする労働者を表現すればこうなっちゃうのか？イラストと写真が微妙に合わず、訴求力に欠けるちょっとシュールなポスターだ。将軍の思いつき？これが法をも下に置く絶対なる「マルスム(将軍のお言葉)」なのかなあ？

たぶん、この路線は不評を買って終わるのではないかと思うが、本当にマルスムだったら終わりは絶対に許されないな。

- ・「新年の約束」
- ・「美しい情緒を与える室内緑化」
- ・「朝鮮革命の第一世代 抗日革命闘争」
- ・「クリエイティブな人材に育てるために」
- ・「優しい先生」
- ・「新機軸の教授方法を編み出している」
- ・「自力更生の精神」
- ・「自分の力を信じれば万里も目の前」

ニュースが終わるといよいよ曲の時間。だが、数曲紹介されたところで「お話」が一つ挿入される。上記はその見出しの一部。いろいろなテーマで語られる短い(たまに長い)「お話」こそ「朝鮮の声」がリスナーに届けたいプログラムなのではないか。なぜなら「お話」には国家と人民を強固に結びつける「主体思想」や「儒教精神」「抗日」が散りばめられているからだ。

「主体思想(チュチェ思想)」人間は自己の運命の主人であり、大衆を革命と建設の主人公とする一方、民族の自主性を維持するために、人民は絶対的権威を持つ指導者に服従しなければならない。

「儒教」 仁・義・礼・智・信の五徳。

「抗日」 反米帝と共に北朝鮮という国がしがみつく唯一のアイデンティティ。

もう、お話しの内容を詳細に写すことはしない。しかし「朝鮮の声」のホームページにアクセスすれば、放送とそっくり同じ内容が文章、又は音声で確認できる。ニュース、ハイライトの下にある政治、経済、文化の項目です。

しかしこのホームページ、閲覧していると5分から10分で切れちゃうのだが私だけ？私のパソコンが北朝鮮を嫌っているの？「お前は占有甚だしい」と切

断されちゃうの？北朝鮮の電力事情が影響？それともパソコンに何かしようとしている？

【申し訳ございません。このページに到達できません。 www.vok.rep.kp. からの応答にかかった時間が長すぎます】

將軍様、なんとかして下さいよ～。再び接続できるまでの暇つぶしにヤフーニュースなぞ閲覧するものだから、どうでもいい芸能ニュースばかりが頭に入ってしまうのです。

1月8日放送の「お話」は「友好を深めましょう」

放送局からリスナーへの挨拶は実に親密な内容なので、これは全文写します。

「チュチュ 112 年、2023 年の新春を迎える『朝鮮の声』のリスナーと視聴者の皆さんをお祝いします。昨年、『朝鮮の声』の短波放送にダイヤルを合わせ、ホームページにアクセスなさった中国とロシア、フランス、ドイツ、イギリス、カナダ、そしてスペインとメキシコ、アルゼンチン、チリ、日本など、世界の多くの国の視聴者とリスナーの皆さんは、朝鮮人民の偉業を支持し積極的に協力する内容のメールを数多くお送りになりました。これらのメールは朝鮮人民を常に励まし、放送の発展に役立ち、友好を深めるのに貢献しました。新年も『朝鮮の声』は視聴者とリスナーの皆さんとの連携を密にするため、鋭意努力するでしょう。スタッフは皆さんがお待ちになるような喜びを与えるニュースや情報の数々を速やかにお伝えするでしょう。また、より便利な聴取と閲覧の環境をつくり、多様でユニークな番組作りで皆さんを喜ばせるでしょう。親しい視聴者とリスナーの皆さん！新年も朝鮮人民との友好を深め『朝鮮の声』宛にご意見、ご感想などをどしどしお送りなさせて下さい。新年も皆さんがお元気で、仕事で成果を収めることを願って止みません。皆さんに改めて友好の挨拶をお送りします」

リスナーとの友好、連帯を訴える新年の挨拶は熱意が伝わる。BCL 的交流。ただ、私は聴くだけでメールは送らないし体制の支持もしないので、放送局が望むところの視聴者、リスナーからは除外だ。

翌 9 日の「お話」は、前日の友好気分を彼方に吹き飛ばすほどの攻撃的な内容だった。

「不法極まりないハンソン(漢城)条約」

これまでにないぐらい長々と話した。長いので触りと終いだけ少し。

「不法極まりないハンソン条約についてお話します。日本の近代史は凶悪な暴力と威嚇、恐喝で朝鮮を占領し、朝鮮民族の尊厳と自主権を乱暴に踏みにじった罪で綴られています。(中略) 朝鮮人民は国の自主権と尊厳を、日本侵略者に無残にも踏みにじられた恥辱の歴史を絶対忘れず、日本の過去の犯罪を必ず決算させるでしょう」

中略の部分は私ができるだけ簡潔に縮めて紹介します。

「朝鮮半島の近代化を政治目的とする『開化派(開化党)』が台頭しました。彼らは決起しましたが(甲申政変)、それを潰したのは日本です。日本は開化派を助けるふりをして最後に見捨てました。理由は『近代化されたら、ゆくゆく朝鮮を植民地にしようとする日本の野望が潰えるから』クーデターの際に日本人が殺される被害がありました。それは清国の兵による仕業です。また、日本人の勝手な同士討ちもありました。朝鮮人は何もしていません。それなのに、厚顔無恥にも日本は武力をもって朝鮮を脅迫して、不利なハンソン条約を朝鮮に押し付けました」

「No. No. No. No ! 朝鮮が近代化されて困るのは清国。それに清国(後にはロシア)の影響を受けぬ朝鮮の独立と近代化は、当時の日本の希望と悲願でしたから」

アメとムチ。上半身はニコニコ顔で握手して下半身を蹴飛ばす。これぞ外交の本質。それとも優位に立つべく、贖罪意識を日本人に植え付けようとする東アジアお得意の戦法か？ 詳しくはウィキペディアに委ねましょう。「甲申政変」も「漢城条約」も経緯がつぶさに書かれています。

私が付け加えるのなら、開化派のリーダーである金 玉均は自分たちでクーデターを起こそうとしなかった。軍隊も武器も、金さえも日本に出させようとした。日本に縋りついた。ここに朝鮮ナショナリズムの萌芽も見られない。絵に描いたような事大主義。クーデターが成功するか否かで重要な、命を捨てて捧げる朝鮮の若者も獲得できなかった。つまり金 玉均は何もかもを日本に丸投げして成し遂げようとした。だから失敗。

日本にも革命はあった。明治維新だ。成功した理由は命を賭けて行動する若侍がたくさんいた事と「これは国内問題であり助太刀無用」親切めかして近づく欧米の介入を許さなかったのが大きい。

自分の身を切る覚悟もない連中に、誰が本気になって力を貸すものか。さらに不利な条約を押し付けられたと被害者ぶっているが、およそ 140 年前の近代において、強い国が弱い国に不平等な条約を迫るのは当たり前だった。民間の取引ですらそうでしょう？

「商売は『三方よし』をもって旨とする」

近江商人のようにホワイトな会社もあるでしょうが、大抵は力のある会社が契約をリードするでしょうが。立場が強ければ取引先に厳しい条件で契約させる。不満があっても契約に至れば履行を承知する。悔しければその場で丁々発止やりあうか、取引先に舐められない力のある会社に育てるか、他にはない唯一無二の業績を獲得するか。

日本も黒船来襲をきっかけに欧米各国から不平等条約を押し付けられた。それこそ悔しいが、この当時の日本は逆立ちしたって欧米に対抗できない。無駄に足掻けば簡単に潰される。しかし、望まぬ条約であろうが結んだからには文句を云わない。改正したければ欧米に拮抗しうる国力を身に付ける。日本はそ

れを立派に自力で行ったのだ。

「自力更生」は北朝鮮が好んで使う言葉だが、モデルとなる日本を手本にするがよい。それから昔の出来事を持ち出して、キャーキャー喚くのはお止めなさいな。みっともない。隣人が祖父や曾祖父の頃にあったトラブルを今でも根に持ち、いつまでもネチネチと攻めたて謝罪や金銭を要求するのなら、世間の評価と評判は「アノ隣人はちょっとオカシイ」

対北朝鮮放送の「しおかぜ(民間制作)」と「ふるさとの風(政府制作)」を聴いた。「ふるさとの風」はいつも良好に受信できたが「しおかぜ」は入感が弱過ぎて微かな日本語を確認するのが精一杯だった。

2002年、金正日は日本人の拉致を認めて謝罪をした。間もなく拉致被害者のうち5名は帰国したが、残る拉致被害者の帰国は実現しなかった。その人数は12名とも19名とも。認定はされないまでも、拉致の疑いが非常に濃厚な失踪者も含めるとすれば、それ以上だ。北朝鮮は相当な数の日本人を拉致、誘拐したと想像できる。1970年代から1980年代にかけてなので、ちょうどBCLがブームになった時代と重なる。

「しおかぜ」も「ふるさとの風」も国家主導の極悪非道に巻き込まれ、不本意にも北朝鮮で生きることを強いられている拉致被害者の皆さんに、日本からの情報を届ける目的で放送される。謝罪から20年は経った現在も聞かれているのかいないのか、定かでは無かろうと一縷の望みをかけて送信される。

伝えられるところによれば、北朝鮮の家庭にある許可済みのラジオは国内の放送しか受信できぬよう、チューニング部が固定されるそう。ボディの開封も厳禁だ。しかし、チューニングの解除は知識のある人ならそんなに難しくもなく、副業でそれを請け負う者もいるらしい。そんな改造ラジオも当局に見つかれば犯罪だ。だから隠す。隠して夜にこっそりと聞く。

しかし性能の良いメイドインチャイナのポータブルラジオも、国境を越えて少なからず流入しているようだ。密貿易の品なら改造もされず、対北朝鮮放送を含め世界中の声が北朝鮮にも届いていることであろう。

軽はずみな動機で北朝鮮に逃げた米兵、チャールズ ジェンキンス氏は、夜になると床下に隠したラジオで、「VOA」や「NHK」など海外放送を聴いていたそう。

余談だが「金正日の料理人」で知られる藤本健二氏は、ある事が問題とされた挙句の長期にわたる謹慎、軟禁中の楽しみを「ラジオでNHKの相撲中継を聴くことぐらいだった」と著書で語っている。側近中の側近に与えられる平壤の高級アパートに住む彼のリビングには、高価なオーディオ機器が揃っていたからそのチューナーで聴いていたのだろうか？それとは別にポータブルラジオも所有していたのか？

「しおかぜ」は聴取に十分な感度を得られなかったので、実際に聴いた「ふるさとの風」についてだけ書く。「しおかぜ」と「ふるさとの風」のプログラムについては、ブログ「海外からのラジオ放送」に詳しいので、ご興味のある方はそちらを参照されて下さい。

「ふるさとの風」は30分の放送で韓国語もあるが、私は日本語放送を聴いた。聴いた限りでは番組の項目は以下の6つで、放送によって組み合わせが変わる。

「懐かしい日本の歌」

「ふるさとの風ニュース(拉致問題への取り組みに関するお知らせ)」

「ニュース解説(北朝鮮を取り巻く情勢についての識者による解説)」

「拉致問題解説(被害者が拉致された状況)」

「ふるさとの声(家族による拉致被害者へのメッセージ)」

「今週の一曲」

放送最後に流れる「今週の一曲」では、山本リンダ『どうにもとまらない』堀内孝雄『君の瞳は10000ボルト』ダウントウンブギウギバンド『サクセス』アリス『冬の稲妻』を聴いた。

最初に聴いたのが『どうにもとまらない』だったので、放送と全くそぐわない選曲に疑問を持った。が『君の瞳は10000ボルト』『サクセス』と続いて、ようやく選曲の意味がわかった。「日本人被害者が拉致された時期にヒットした歌謡曲を選んでいるな」、と。

正確には「政府認定拉致被害者の家族・関係者の希望した音楽を放送。多くは政府認定拉致被害者各人の失踪前に好んだ曲で、ジャンルは多岐にわたる(ウィキペディアより)」

「ふるさとの風ニュース」と「ニュース解説」は詳細な内容だ。民間ではなく政府の拉致問題対策本部が放送するからなのか、私は被害者の皆さんに聴いてもらうには内容があまりにも硬過ぎると思う。特に識者が解説する「ニュース解説」は、そのまんま講義だ。授業ではあるまいし、男の低い声でぼそぼそと喋る教授の講義を、短波に乗せて聴かせようとしてどうする？なぜもっと噛み砕いた分かり易い内容に出来ないのだろうか？失踪当時には若かった被害者も、生きているのなら少なくとも初老を迎えている年代なのだ。

あくまで被害者に届ける目的を持って放送するからには、工夫して少しでも理解しやすい、初老、老年を相手とする聴きやすい情報を送ることこそが重要なはずではないか。

「母ちゃん、元気ですか？今、どこで、どうしてですか？母ちゃんと離ればなれになって33年。私も52歳になりました。母ちゃんは今年、80歳になりますね。自分の歳が分りますか？皆でお祝いをしたいです。私も日本に帰ってきて、いろいろな事がありました。でも、母ちゃんのことを考えれば、どんなに辛いことでも我慢できます。大好きな母ちゃんに一日も早く会いたいで

す。最近、私は母ちゃんの夢をよく見ます。思いっきり甘えている姿がありません（後略）」

番組の一つである「ふるさとの声」で聴いた、静かにゆっくりと一語一語を噛みしめながら話しかける曾我ひとみさんの、母に向ける12年前のメッセージ。1978年の8月に佐渡島で、北朝鮮の特殊工作員に母娘共々拉致された当時19歳の曾我ひとみさんは、工作員から突然の襲撃を受けて動転した瞬間から母、ミヨシさんと別々に引き離された。ミヨシさんの消息は、その一瞬から45年経つ今も不明である。

外国人の拉致誘拐、覚せい剤の製造輸出、偽札作り、サイバー犯罪、北朝鮮外交官による密輸、一般人を騙して殺人の片棒を担がせる。

きっと他にも何かやってるに違いない。

マフィアか凶悪犯罪者の生業を国家ぐるみで平気に行う、チュチェの名のもとに目的の為なら手段を選ばぬ国を私は他に知らない。

朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法 第三章 文化

第39条 朝鮮民主主義人民共和国で開化発展している社会主義的文化は、勤労者の創造的文化を高め、健全な文化情緒的需要を充足させることに寄与する。

第52条 国家は、民族的形式に社会主義的内容を含めた、主体的で革命的な文学芸術を発展させる。国家は、作家、芸術家が、思想芸術性が高い作品を多く創作し、広範な大衆が文芸活動に広く参加するようにする。

北朝鮮の憲法には音楽に関する規定はないのだが、第52条の文言である「文学」と「文芸」を「音楽」に置き換えてしまっても良いだろう。

先にも書いたが「朝鮮の声」では一回の放送で8曲前後を流すから、一か月の放送聴取で歌謡とインストゥルメンタルを含めて延べ200曲は聴くことになる。大した数だ。大した数を聴いたのに印象に残る曲がない。私の音楽的感性に問題と限界があるにしても、ほとんど全てがワンパターンの袋小路に閉じ込められているとしか捉えられない。アレンジされた朝鮮民謡の紹介もあったが、それは3曲だけだった。歌劇の主題歌や挿入歌も流されたが、それはそこそこ聴いたと思う。

気になった曲としてチェックしたのが『進む社会主義』『この地の主人は語る』『我らが金正恩同志』『花を売る乙女』ぐらいで気になった理由も「アニメ調」「ピュンピュン、ピュピュンの電子音」「『三年目の浮気』みたいなイントロ」「とてもやさしい歌声」

はっきり言って特筆すべきことでもない些細な特徴ですら、大発見したと勘

違いするぐらいマンネリな歌謡のオンパレード。

俗に北朝鮮歌謡は「思想宣伝のための道具(音楽政治という言葉もあるそうで)」と称されるので、サウンドよりも朝鮮語の歌詞を理解できることが北朝鮮歌謡を楽しむ要諦でもあるはずだが、私は解せないので放送で流れる歌を聴くだけでは可哀そうにもその醍醐味を享受できない。

「それでは歌詞の内容は確かめられないのか」そんな事はない。北朝鮮音楽について解説する本はあるし、なにしろ、この時代にはユーチューブがある。放送で紹介された曲の何割ぐらいが検索できるのか分らないないが、再聴取したい曲を検索すればほとんどがヒットした。日本語訳も画面に出る動画がけっこうあるので歌詞もチェックできる。全ての曲がそうであるとまでは言わないが、大衆に合わせた易しい言葉によるプロパガンダ歌謡であるのが間違いなく確認できる。

北朝鮮音楽にも変遷の歴史がある。以下は『北朝鮮を知るための55章』より。

- ・ 国家創建当時(1945～1950)
「音楽は社会主義政権における政策のプロパガンダとするもの」
- ・ 朝鮮戦争時(1950～1953)
「音楽は兵士の士気を高めるもの。勇猛果敢を讃えるもの。軍民一致の模範を示すもの」
- ・ 戦後復旧・千里馬運動の時期(1953～1966)
「音楽は成功した社会主義を宣伝する為のもの」
- ・ 金日成崇拜の時期(1966～1989)
「音楽は金日成を崇拜するもの。崇拜の根拠となる主体(チュチェ)思想を宣伝、浸透させるもの」
- ・ 普天堡(ポチョンボ)電子楽団の活躍時期(1989～1994)
「音楽に電子楽器を導入」
- ・ 金正日の先軍(軍事最優先)政治の時期(1994～2011)
「音楽は金正日を崇拜するもの。先軍政治を肯定するもの」
- ・ 金正恩の時期(2012～)
「音楽は金正恩を崇拜するもの」

こうして見れば音の改革なんて電子楽器の導入ぐらいで「北朝鮮音楽の歴史とは思想宣伝の対象が時代によって変わるだけ」という意味でしかないことがよく分かる。これが北朝鮮の「大衆歌謡」であるのだから、私が思う「大衆歌謡」とは大きなズレがある。

『北朝鮮ポップスの世界』という本がある。「難しいことなんか云わずにサブカルチャーとして北朝鮮の歌謡を楽しもうよ」そんな意図で書かれているようだ。対談形式で進む話の中で、お一人が「『朝鮮歌謡』もしくは『チョソン歌謡』と呼びたいのですね。大衆音楽ではありませんから」お相手は「私は『北朝鮮ポップス』という呼び方にこだわりたい。いくらプロパガンダでも、100%大衆を無視して作っているはずがないから」やりとりを経て最後に「北朝鮮ポ

ップス」の名称に落ち着くのだが、あれをポップスと呼ぶんですかあ？

ポップスは「大衆が大衆の為に生み出す自由で放たれた音楽、と私の辞書にはあるのだが、お上が下々の者に「これを聞け。これこそ共和国の音楽だ。これ以外は聞くことを許さぬ」そんな官制音楽が、音楽として上手に料理されているとしても【ポップス】扱いではPOPSも泣くってものだ。

憲法に音楽を規定する条文が無いことは先に書いたが、憲法以上に北朝鮮音楽の在り方を決定的に定義付ける1冊の著作が存在する。30年に渡り今に至るまで北朝鮮の音楽を縛るこの著作は、北朝鮮の音楽、歌謡をこの上なく愛するリスナーを含む北朝鮮マニアの人々にとって、理解を深めるために読まなければならない必携の書であるはずだ。それが1991年金正日著『音楽芸術論』

北朝鮮音楽を私なりに調べる過程で、この著作が度々登場するので「これはちょっと読まないといかんか。古本でも買えないものか？」調べてみたらPDF化したものがフリーでネットからダウンロード出来る。フリー、マンセー！

「朝鮮の出版物」というこのサイトには、題名からして魅力的な数多くの書籍がアップされていて、思わず関係のない『朝鮮の特産 キムチ』という本も一緒にダウンロードしてしまった。私、キムチが大好きなんです。ついでに『神秘のパワー 高麗人参』なぞという本もあるのか探したが、それはちょっと見つからなかった。

先代の将軍である金正日は、かなりのエンターテイメント好きで知られている。手っ取り早く庶民への思想宣伝に一役買うのは演芸の分野だ。音楽マニアであり映画マニアでもあった先代は、日本の歌謡曲が大好きでアメリカ映画などもたくさん観て、彼なりに北朝鮮演芸の在り方を随分と模索していたようだ。文学や美術についても造詣が深かったかどうかは分からない。それらについては恐らくなかったろう。興味を示すのは音楽と映画だけだったと私は思う。

PDF版『音楽芸術論』は文字びっしりの176ページなので簡単に。

- ・音楽は生命たるチュチュエ思想に基づかなければならない。
- ・音楽は大衆化しなければならない。
- ・電子楽器は世界の趨勢であり拒絶してはいけない。取り入れるべし。
- ・音楽の基本はメロディー。美しくなめらかに。
- ・情熱を込めろ。

この辺でもういいや。とにかくこの著作(もっとも本人である金正日が、鉛筆を舐め舐め原稿用紙の升目を埋めたわけでもなかろうが)では、彼ただ一人が良いとする北朝鮮音楽の在り様を、偏執と言っていいほど事細かく規定している。読んでいて息苦しくなるような感覚に襲われる。だが、北朝鮮のエキスパート達は作詞作曲にしる演奏にしる、歌唱にしる、この著作に書かれている内容を決して踏み外してはならないわけだ。芸術家の良心をもって逸脱したら最後、地位を剥奪されたあげく左遷による教化所だか管理所送りの憂き目に遭う。これが「朝鮮の声」で大いに流される北朝鮮ポップスの正体だ。

それでも戦前生まれの今年 89 歳になる私の母親に聴かせると「あら、素敵な歌声ねえ。誰？」となるのだが。

北朝鮮という意固地で頑迷な国が南を統一するのか？南に統一されるのか？金王朝は 500 年続いた李王朝を越えるのか？近い将来に思いもよらぬ悲劇が北朝鮮を襲うのか？神が北朝鮮を祝福するのか？それは誰にも分らない。

江戸時代に徳川は 15 代続いた。徳川幕府 265 年の歴史上、鎖国をしていたにも関わらず江戸文化は花を開いた。金 正恩もあまりうるさいことを云わずに、音楽ぐらい少しは自由にやらせてあげれば。やっぱり無理ですか？

The Beatles 『Revolution』

1968 年 Lennon & McCartney 訳やっちゃん

革命を起こしたいって そうねえ わかるよ
みんな世界を変えたいもの
革命は進歩なんだって そうねえ わかるよ
みんな社会を変えたいもの

だけど破壊を口にするのなら
俺は仲間になんかならねえよ
わからないかなあ 大丈夫なんだって

妙案がひらめいたって そうねえ わかるよ
それはどんな計画なんだい
カンパを頼みたいって そうねえ わかるよ
その前にやる事があるだろ

憎しみの為に金が欲しいなら
ちょっと待ってくれよ 兄弟
わからないかなあ 大丈夫なんだって

体制を変えるんだって そうねえ わかるよ
まずはお前自身を変えなよ
それが団結なんだって そうねえ わかるよ
まずはお前の心をほぐせよ

だけど毛の写真を離さないなら
誰とだって上手くはいかないね
わからないかなあ 大丈夫なんだって
大丈夫 大丈夫 大丈夫

※毛(毛沢東主席)

BCL 旅日記

2022 年 7 月～2023 年 3 月

金井昌行

7 月 群馬県高崎市、前橋市

7 月 2 日 土曜日

東京駅から 8 時すぎの上越新幹線たにがわ 403 号で高崎へ。この 5 月に亡くなった父親の納骨のため、前橋市内のお寺に向かう。群馬県内在住の妹一家が事前準備をしてくれたため大いに助かった。前後の予定が立て込んでいるため午後の北陸新幹線はくたか 562 号でとんぼ返りとなる。

8 月 群馬県高崎市、前橋市

8 月 13 日 土曜日～16 日 火曜日

告別式から納骨まではあっという間に過ぎ、息つく間もなく新盆だ。今回は数日滞在するうえ、あいさつ回りなどで出入りも多いと予想して東京からレンタカーで高崎市に向かう。関越自動車道の渋滞は覚悟の上だ。所用で出かける際、クルマでの移動中にカーラジオで高崎、前橋などの CFM 局を聞いたのが唯一の BCL タイムだった。

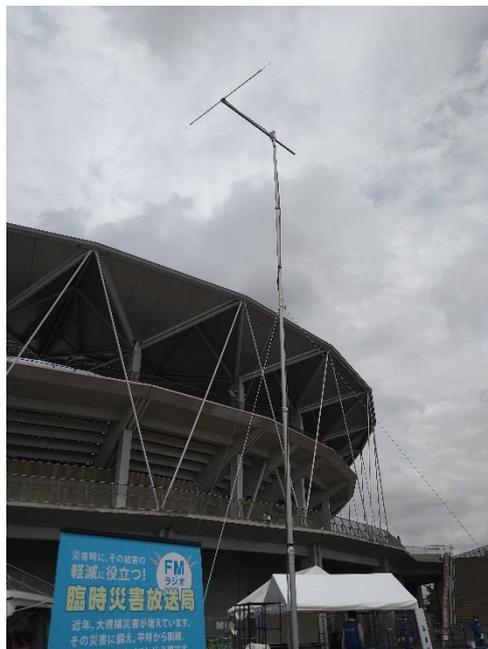
9 月 千葉県千葉市、東京都江東区

9 月 1 日 木曜日

関東大震災から 99 年目となる防災の日、千葉県の JR 蘇我駅前から臨時シャトルバスに乗り千葉市蘇我スポーツ公園に向かう。フクダ電子アリーナもある

広大なこの公園は、災害時には広域防災拠点として救援、復旧のための後方支援型活動拠点となる公園という。この日は千葉県、東京都など九都県市合同防災訓練が行われ、臨時災害放送局が設置されるとの情報を得ている。

会場に入るとすでに訓練は行われていて、消防車のサイレンやヘリコプターの離着陸時の音など騒がしい。思った以上に本格的な訓練だ。公園の片隅のベンチに座りラジオのスイッチを入れると「関東臨災 FM 実験 1」が聞こえている。周波数は 77.1MHz、放送大学 FM の跡地を活用している。しっかりログをとり、関東総合通信局の出展ブースに立ち寄りご挨拶させていただいた。



(千葉市で開設された関東臨災 FM 実験 1 の送信アンテナ)

9 月 11 日 日曜日～17 日 土曜日

異変を感じたのは 11 日の朝だった。起床した時点でやや頭が重い。でも食欲は普通にある。数年ぶりに発熱したようだ。ただの風邪か新型コロナウイルスか

判断できないのでまずは近所のかかりつけ医に電話で相談する。日曜日にPCR検査ができる近くの病院を紹介してもらいタクシーで向かう。結果は、新型コロナウイルスのオミクロン株に感染していた。ゾコーバという塩野義製薬が開発し、最近特例承認されたばかりの経口薬をもらい帰宅。一週間の自宅療養が始まった。仕事や買い物などの外出は自粛。冷蔵庫にあった食品、災害時用備蓄食品、保健所から届いた缶詰、レトルト食品などで生き延びる。2～3日は頭痛、発熱でつらかったが徐々に回復し楽になる。一足先にコロナに感染していたかつての船友 W 氏からメールで届くアドバイスと、ゾコーバが効いたのか軽症で済んだのはなによりだ。ちなみに妻は一日遅れで感染しすぐに回復、どうやらうつしてしまったようだ。

10月 群馬県高崎市、栃木県足利市、北海道各地

10月1日 土曜日～3日 月曜日

上野東京ラインのグリーン車で高崎へ。週末の2日間、高崎実家の近隣住民の方々にご挨拶に伺う。

3日の月曜日の昼過ぎ、高崎駅から両毛線の電車で栃木県に向かう。足利駅で下車して徒歩で目的地へ。詳細は本誌 No.12(前号)のペリカードの中の風景5をご参照願います。JRの足利駅前から路線バスで東武伊勢崎線の足利市駅に回り、東武特急リバティりょうもう34号で浅草へ帰京。

10月15日 土曜日～19日 水曜日

羽田発12時20分のスカイマーク713

便で新千歳空港に到着。妻とともに参加する4泊5日のツアーがスタートする。ツアーといっても決まっているのは宿泊先だけ。十勝川温泉、阿寒湖温泉、温根湯温泉、そして旭川市内のホテルに1泊づつすごろくのように進めばよい。道中はレンタカーでご自由にどうぞ、という極めて自由度の高いツアーだ。



(阿寒湖畔を散策中にエゾシカさんとご対面)

帯広のばんえい競馬場で人生初のギャンブル、十勝平野ではバルーン(熱気球)による飛行など初体験が続いた。野生のエゾシカやキタキツネとの出会いもあった。石北峠では早くも積雪があり、レンタカーがスタットレスタイヤをはいていたのも納得できた。旭川では話題の旭山動物園にも立ち寄る。ログを取った受信局はローカル局2局のみだが、道中のレンタカーの車中ではFM、MWの各局を朝から晩までよく聞いた。新千歳空港に戻るとレンタカーの走行距離は1000キロを超えていた。北海道は広い。19日のスカイマーク720便で17時50分に羽田着。

なお、10月16日の日曜日、東京都練馬区で臨時災害実験局の試験放送が実施されたが聞きに行けなかったのは

残念だった。

11月 神奈川県横浜市

11月26日 土曜日

この日の夜、横浜市鶴見区で僕と妻、そして共通の友人二人が久々に集まりささやかなお食事会を開催することになった。せっかくなのでちょっと早めに家を出て東京駅から東海道新幹線ひかり511号で新横浜へ。お昼過ぎに着いた新横浜駅前を一回り。新横浜から鶴見へは直通の路線バスがあることを、本誌No.11に掲載のベリカードの中の風景4で三ッ池公園を訪れた時に気づいていた。件のバスで鶴見に出てもまだ時間がある。駅近くのコーヒーショップで川崎のCFM局「FM K-City」を聞きながら一息つく。

夕方、日が暮れかけたころ区内の沖繩、南米料理店に向かった。高校生のころから知り合いのS嬢は結婚し、かつて七つの海を共に航海したK君は脳梗塞を克服していた。そして僕らはコロナから復活、人生いろいろを実感する夜だった。

12月 東京都千代田区、西東京市、北区

12月3日 土曜日

秋葉原 BCL クラブ(ABC)の忘年会がその発祥の地、秋葉原で開催された。リアルでの忘年会は3年ぶりかな。多くのBCL友達と再会し楽しい時を過ごした。

後日知ったことだが、この日の昼、ABC スタッフのえいみいさん(金澤江美さん)が永眠された。3年前は秋葉原での忘年会でお会いしたのに・・・ ご冥福を

お祈りいたします。

12月18日 日曜日

高田馬場から西武新宿線の急行で3つ目の駅、田無で下車する。田無、保谷の両市が合併して西東京市となったこの地のCFM局「FM 西東京」を聞くために。西武鉄道沿線にはほかにもCFM局があるが別の機会を待ちたい。

12月19日 月曜日

放送大学 FM の跡地、77.1MHz を活用する臨時災害実験局を近隣の複数自治体が同時に開設する際の検証を行う実験試験局、「テクノロジーズ伝搬実験・練馬」(てくのろじーずでんぱんじっけん・ねりま)の試験電波を北区で受信する。テストトーンの合間に入る局名アナウンスがはっきりと聞き取れた。

1月 埼玉県朝霞市、群馬県高崎市、埼玉県本庄市

1月16日 月曜日

2020年9月に閉局した埼玉県のCFM局「クローバーメディア」の後継局「775 ライブリーFM」を聞きに朝霞市に行く。今回も武蔵野線の北朝霞駅構内で問題なく受信でき、大回り乗車で帰宅する。

1月31日 火曜日～2月2日 木曜日

群馬県高崎市に住む叔母が亡くなり、告別式に参列するため急遽レンタカーで高崎へ。実家の整理、片付けも少しだけやり、群馬のローカルTV局「群馬テレビ」を受信しログをとる。帰路は埼玉県本庄市まで一般道で行き「ほんじょうFM」を受信してから関越自動車道で帰京する。

2月 東京都千代田区

2月28日 火曜日

12月に受信した「テクノロジーズ伝搬実験」、この日千代田区内でラジオのスイッチを入れると足立区からの試験電波が聞こえている。複数の市区から同時に送信した際の混信状況などを調査しているようだ。

3月 静岡県富士宮市、大阪府吹田市、兵庫県尼崎市、鳥取県境港市、島根県松江市

3月30日 木曜日

早朝4時半に家を出てタクシーで東京駅へ。5時20分発の東海道本線の下り始発電車に乗る。手元には青春18きっぷ、東海道沿線の車窓に流れる満開の桜を觀賞しながら西へと向かう。富士で身延線の電車に乗り換えて富士宮で下車。路線バスに乗り込む。30分ほど乗車して向かった目的地は？本誌別ページのベリカードの中の風景6をご覧ください。

バスと身延線電車で富士に戻ってもまだお昼前。静岡県内のCFM局「FM島田」などを聞きながら東海道本線の旅を続ける。日が暮れたころに関西圏に入り吹田、尼崎の両駅では途中下車して明日で閉局予定の守口市の「FM HANAKO」と尼崎市の「FM aiai」をしっかり受信しログを取った。山陽本線でさらに西へと進み明石に21時40分着。駅近くのビジネスホテル泊まり。

3月31日 金曜日

朝6時半にホテルをチェックアウト、明石駅で青春18きっぷに2個目の日

付印を押してもらおう。この日は中国地方の鉄道旅行をしながらなるべく早い時間に鳥取県の境港に行きたい。そのため西明石から岡山まで山陽新幹線こだま839号、新見から米子まで特急やくも9号で「ワープ」しつつ津山線、姫新線、境線のローカル線の旅を楽しんだ。18きっぷは特急利用時には使えないため乗車券、特急券は別払いとなるが、昨日充分乗ったので気にしない。車窓のさくらは中国地方でも満開だった。



(長廻さんと島根半島の惣津海岸にて)

14時26分、境線の終着駅境港で長廻さんと約3年半ぶりに再会する。奥さまとともに境港の対岸の島根半島の惣津海岸、美保関灯台などをご案内いただく。夜は境港に戻り新鮮な海の幸をいただいた。市内の公共の宿に投宿し早寝とする。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

群馬県高崎市の実家への帰省回数が急増した。これはもうしばらく続きそうだ。そしてついに罹患してしまった新型コロナウイルス。軽症ですみ、今のところ後遺症はないようだ。前号でお知らせしましたとおり、今回は2022年7月から2023年3月までの9ヶ月間のご報告をさせていただきました。(鉄道ライター)

アンテナ用電線比較

ja-radio(じゃーらじ)📻/JA1JQE ... 伊藤 昌浩

■はじめに

「あーゆぼーわん えいみいさん追悼特集 2023夏号」に筆者が投稿した記事「えいみいさんとゲルマニウムラジオ」で作成したゲルマニウムラジオ<写真1>のループアンテナに使う電線の評価を行った過程で得られた比較データを紹介する。

結果、細い撚線でも複数束ねることで性能向上ができた。また、リッツ線の効果や単線の性能、撚線の特長も本比較により判明したことは収穫である。

■ループアンテナの電線について

本ゲルマニウムラジオは、選局するためのバリコンに並列に接続したループアンテナだけで受信する方式である。大きさの都合でループは2つに分割して直列に接続している。

ループは、100円ショップの直径約60cmフラフープを2個使い、巻きすの竹ひご(約30cm)を渡して太鼓状に組んでいる。電線はその側面(太鼓の胴部分)に15ターン巻いている。これが2つで直列接続とし、電線の全長は約60mになる。

これだけ長くなると、使う電線の導体部分の太さ(断面積)や表面積に応じた交流及び直流抵抗、コイル成分となるインダクタンス等によりインピーダンスが生じることになる。それらの値が低ければ、よりコイルとしてやアンテナとして純粋に動作することから、受信の選択度や感度が向上すると考え色々な電線を比較した。

筆者が試したのは現時点はループアンテナだけだが、様々なアンテナで同様の傾向となるはずである。特に長い電線を要するアンテナ程効果が高いと考えられる。



<写真1> ゲルマラジオ全景

■各電線の比較について

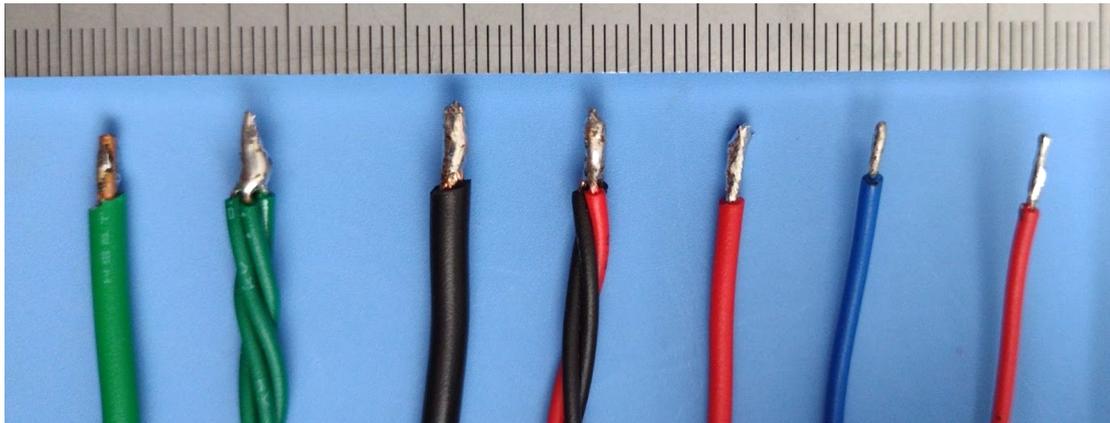
ループアンテナ全体に巻いて比較を行うのはコストや労力等の面で難しいため、各電線を1mの長さに切って測定し、一番良いと考えられる電線をループアンテナに採用した。

比較した電線の型式は<表1>、形状は<写真2>である。それぞれ規格品であるため、様々な線材メーカーから発売されており入手性は良い。

全ての電線は被覆された銅の電線であり、単線以外は細い素線を撚り合わせた構造である。素線数と素線径も参考のため<表1>に記載した。なお、どれも素線には被覆は無い。

種類	断面積 [mm ²]	素線数 [本]	素線径 [mm]	特徴等
IV単線 2.0mm ²	2.0	1	1.6	導体直径1.6mmの単線。
KIV 2.0mm ²	2.0	37	0.26	導体直径1.6mmの撚線
KV 0.75mm ²	0.75	30	0.18	導体直径1.0mmの撚線
KV 0.3mm ²	0.3	12	0.18	導体直径0.6mmの撚線。1本だけでなく3本並列(3パラ)及び4本並列(4パラ)も測定した。
AWG22	0.326	17	0.16	AWGは米国規格。数字が大きい程細い 導体直径0.64mmの撚線

<表1> 測定した電線の型式



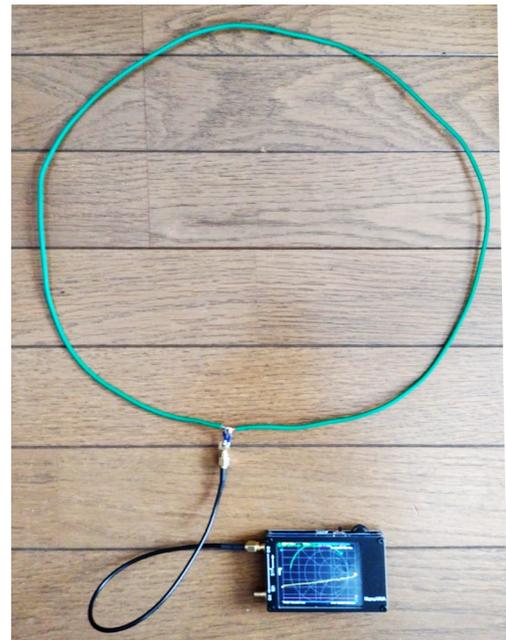
IV単線	KV	KIV	KV	KV	AWG22	KV
2.0mm ²	0.3mm ²	2.0mm ²	0.3mm ²	0.75mm ²	(0.326mm ²)	0.3mm ²
	4パラ		3パラ			

<写真2> 測定した電線

■測定方法

本記事での測定はNanoVNA<写真3>を使用し、RESISTANCE(抵抗)のモードにて500kHz、1MHz、2MHz、5MHz、10MHzの20MHzの各周波数を測定した。

接続は<写真4>の様に、1mの電線を1ターン直径約31.8cmの円とし、始点と終点にNanoVNAを接続した。



<写真3> NanoVNA

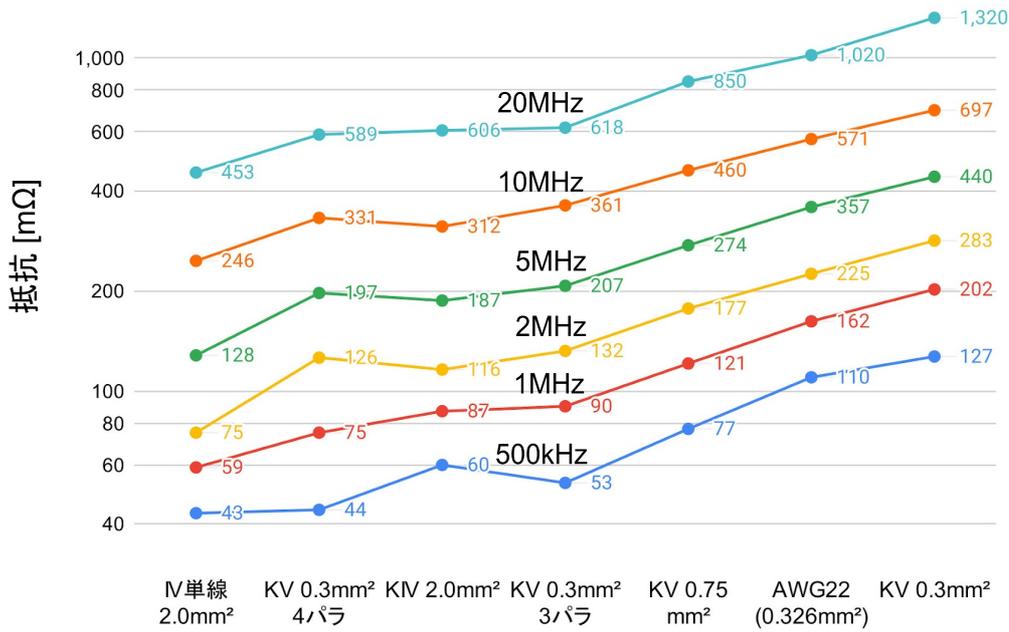
<写真4> 実際の測定

■各電線の測定・比較結果

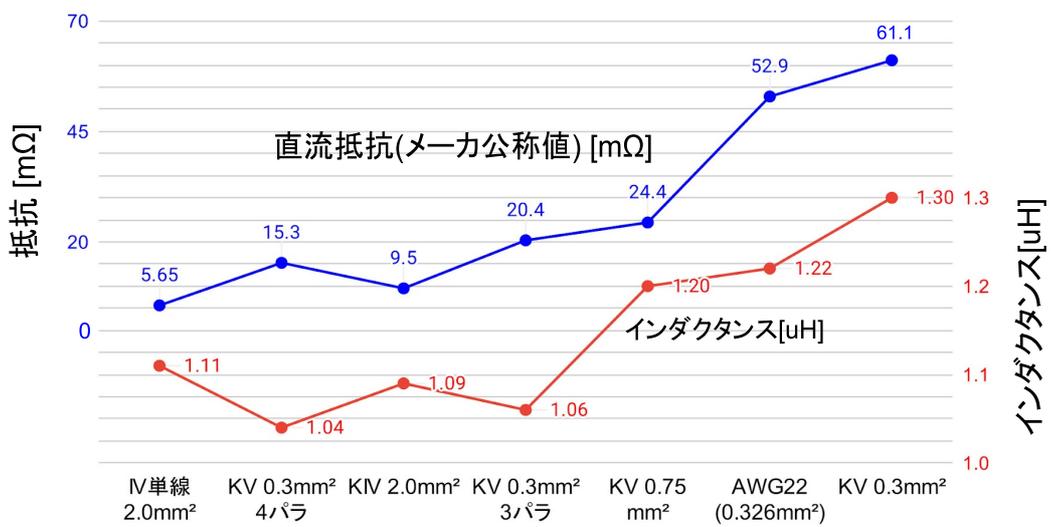
<図1>は前述の周波数毎の1m当たりの実測した抵抗値である。

<図2>はメーカー公称の1m当たりの直流抵抗値とインダクタンスの実測値である。3パラ4パラはそれぞれ公称値をパラ数で割っている。

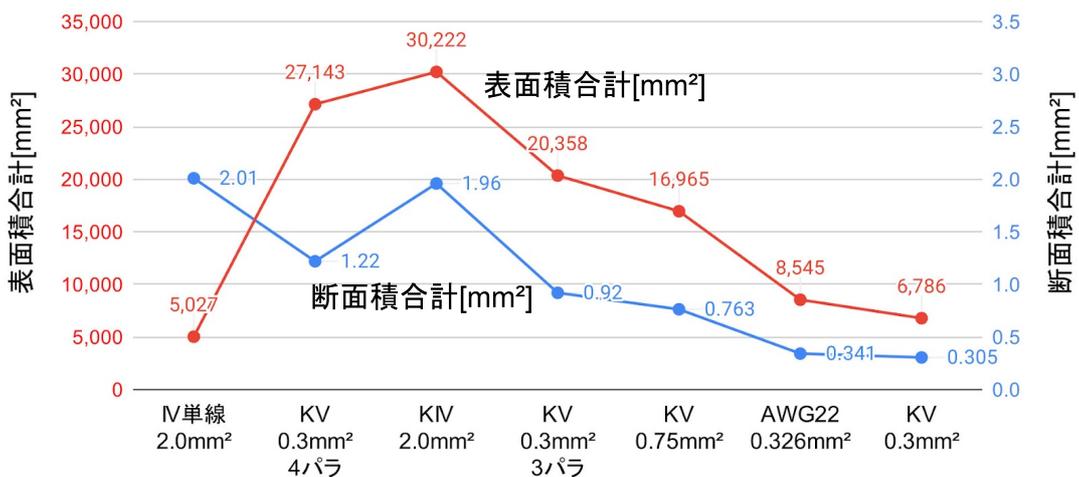
<図3>はメーカー公称値の素線の本数及び直径から、1m長の素線の表面積および断面積を合計した値である。



<図1> 周波数毎の各種電線 1m当たりの抵抗値



<図2> 1m当たりの直流抵抗値(メーカー公称値)とインダクタンス



<図3> 断面積と1m当たりの表面積

■結果・考察等

・IV単線 2.0mm²...

測定以前は断面積は広いが素線が1本であるため、全体の表面積が小さい。そのため表皮効果により抵抗値が大きくと想定していたが、実際はどの周波数でも最も抵抗値は小さい。しかしながら、固くて太い単線は工作のしづらさが伴うのがデメリットである。ダイポールやロングワイヤ等には最適と考えられる。

・KV0.3mm² 4パラ、3パラ...

断面積がKV2.0mm²と比較すると4パラで62%、3パラで47%しかないが、特に中波に相当する低い周波数帯で抵抗及びインダクタンスが小さく特筆すべき性能である。この点は平行化によりリッツ線として動作していると考えられる。また、柔軟性が高く工作しやすいメリットがあるが、並行する電線がバラバラにならないように編み込む(ねじる等)の工程が必要である。この4パラを最終的にゲルマニウムラジオのループアンテナに採用している。

なお、若干太さや素線数がKV0.3mm²よりも多いAWG22を3パラや4パラにした場合、1本当たりの性能が良いことから、KV0.3mm²の4パラ3パラ以上の性能になると考えられる。

・KIV2.0mm²...

素線数が37本と多く表面積では最大だが、KV0.3mm²の4パラ及び3パラと比較し抵抗値、インダクタンス値で同等か及ばない周波数がある。さらに、断面積で同等であるIV単線と比較した場合はかなり見劣りする。これらの理由については、非リッツ構造の燃線であることに起因している可能性があり、この点はとても興味深い。一方、同一断面積のIV単線と比較すると柔軟性は高い。

本比較を行う以前は、ループアンテナの前半はKV0.75mm²で巻いて、後半はAWG22を継ぎ足して使うなどしていたため、見立てと現実間でアンマッチが発生していた。本比較でおそらくベストの組み合わせと考えられるKV0.3mm²の4パラを端から端まで使用したことで、受信性能と電線の違いの関係性に納得できた。

さらに、今回の測定でのもう一つの成果は、単線やリッツの効果は筆者として初めて明確に判別できたことである。マグネットワイヤ(エナメル線)等も複数束ねて使う等により、さらに高性能化も想定できるため、今後様々なアンテナや電線利用時に本経験が役に立つと考えられる。

以上アンテナ用電線比較でした。

■最後に筆者のブログについて紹介

ラジオやアマチュア無線、オーディオなどのネタで時々更新中。
また、ROK技術倶楽部のエアチェックの動画などをほぼほぼ毎週投稿しています。

URLはこちら ⇒ <https://ja-radio.seesaa.net/>

右のQRコードを読み込むと上記URLにジャンプできます。

その他、ツイッターやYouTubeは@jaradiokidsで情報発信しているので、もしよろしければフォローよろしくおねがいします。



同調型シールドループの実験

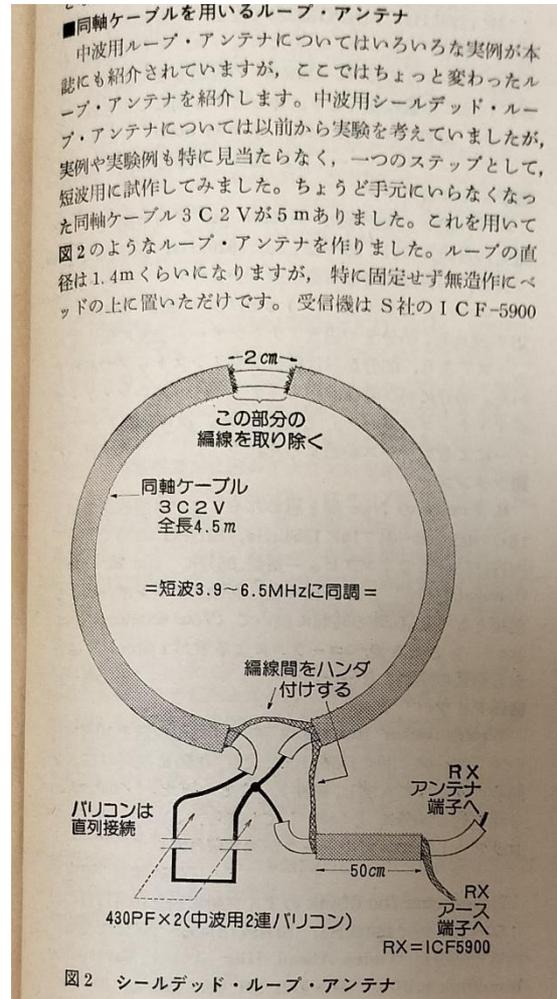
佐藤弘敏

短波 1979 年 1 月号の「中波 DX コーナー」で牛込和則さんが同軸ケーブルを用いるシールドループアンテナについて紹介されていました（右）。これを応用して大きさの異なるループを作成してみました。

元の記事では全長 4.5m で 3.9-6.5MHz に同調したとの記述があります。少し大きさが違うものかと思ひフラフープを利用して全長約 2m のものを作成してみたところ、およそ 6MHz から 12MHz に同調が取れました。バリコンは 200pF 程度のポリバリコンを使用しています（左下）。

さらに、全長約 1m のものを作成してみたところ、同調周波数は約 10MHz から 21MHz となりました。こちらは 5C-2V を使用して作成したものを S 字フックにひっかけていますが、フラフープへの固定がなくても何とか形状が保てる状態です（右下）。

中華ラジオと組み合わせて使用してみると、同調する手間は必要になりますが、非同調型とは異なり、同調を合わせると信号がぐっと浮かび上がるのがわかります。細かいことを言うと、信号の強さだけでなく SN 比で言うべきだとかいうことにはなりますが、耳で聞いた限りではロードアンテナだけで受信するより効果があります。同調型が良いか非同調型が良いかは使用する場面にもよりますし、使用する人の好みもありますので一概にどちらが良いとは言えませんが選択肢の一つとしてご紹介しました。



短波 1979 年 1 月号より引用



フラフープに沿わせたもの



高い周波数で使用するタイプ：5C2V を使用して何とか形が崩れずに保てる

近況報告

(と称するお詫び)

石崎 亮史朗 (いしざき きょうしろう)

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

「あーゆぼーわん」に投稿を送ることを怠って、本当に申し訳ございません。いろいろ申し上げたいことがそれこそ山ほどありますが、それを文章にすることは思っているより難しく、形にすることが未だに出来ません。要は、ジェンダーという視点から BCL を見つめ直したいということです。

相変わらず公私共々いろいろありまして、ラジオを聴く機会は余りありません。と言いつつ、「内海英華のラジ関寄席」を聴いています(「ウイークエンドサンシャイン」の裏ということが唯一の難点・笑)。勿論、「Knock on the Rainbow」や「録音風物誌」、「世界の快適音楽セレクション」、「JAZZ BOX」、「ブエノスディアス タンゴでおはよう」も聴いています。いかんいかん、Reach Beyond Australia の毎週末の日本語番組を聴いていることも書かなきゃ(苦笑)。

NHK も含む地上波テレビの放送内容が余りにも(中略)なので(それ以上に(中略)なのがネット・怒)、休日はラジオを聴く機会を意識的に増やしていますね。

余りにも激しく変わる今日この頃の天気、会員の皆様くれぐれもお身体に気をつけてくださいませ。

会 員 からの お 便 り

アマゾンショッピングでナショナル RF-1010と RF-2200を買いました。故障もなく、大変うれしいです。【横山雄樹】

◆気軽に一言投稿してみませんか？ 投稿フォームよりテキストで投稿できます。
【ABC50's 編集部より】

国会図書館に納本しました！

秋葉原 BCL クラブからのお知らせです。

ABC50's No.11

みんなの BCL マニュアル 2020

みんなの BCL マニュアル 2021

をデジタル情報として国会図書館に納本しました。

国会図書館のウェブサイトの「デジタルコレクション」<https://dl.ndl.go.jp/>で「秋葉原 BCL クラブ」で検索するとこれらがリストアップされます。ログインの必要なしで誰でも閲覧可能です。

これらの中での原稿の著者の方はご自分の名前で検索すると記事がリストされます。あなたも国会図書館の蔵書の著者として認識されます。これを機会にぜひご投稿をお願いします。



なお、別途「みんなの BCL マニュアル 2022-2023」を印刷物として納本しています。こちらは国会図書館の中で閲覧可能です。また、「みんなの BCL マニュアル 2022-2023」は東京都立図書館の蔵書にもなっています。（ちなみに同図書館には DX 年鑑もあるそうです）

秋葉原 BCL クラブ新入会員募集

ただいま秋葉原 BCL クラブでは新入会員を募集しています。

団体名： 秋葉原 BCL クラブ
略 称： ABC (Akihabara BCL Club)
設 立： 2016 年 6 月
会員数： 251 名 (2023 年 7 月 22 日現在)
活 動： オンラインミーティング開催 (毎月)
会報発行 (年 2 回)
みんなの BCL マニュアル発行 (年 1 回)
Facebook グループの運営
ほか。
入会金： 無料
年会費： 無料

どなたで入会できます。電波に国境はありませんので国内だけでなく海外からの入会も歓迎します。入会をご希望の方は「入会お申込みフォーム」にてご連絡ください。「電子会員証」をメールにて送付いたします。なお、お寄せいただいた個人情報は会員管理及び連絡以外の目的では利用いたしません。(会員名簿の発行も行っておりません。)

秋葉原 BCL クラブ「入会お申込みフォーム」
<https://www.abc50s.net/mail/join/>

みなさまのご入会を心よりお待ちしております。
BCL はまだまだ元気です。ご一緒に盛り上げて行きましょう

秋葉原 BCL クラブ

ご自慢のシャックや受信機の画像で

ABC 50's の表紙を飾ってみませんか?

ABC 50's の表紙を貴方のご自慢のシャックや受信機で飾ってみませんか?

普段、BCL をしているお部屋やシャック、受信機コレクションなどの画像を募集します。掲載を希望される方は、以下の URL からフォームで JPEG 画像をお送りください。掲載希望者多数の場合は、順次掲載していく予定です。

<https://www.abc50s.net/mail/editor/>

ABC 50's No.13 の表紙: JL1MWI/水内正浩氏 ご自慢のシャック



水内正浩氏は、「神奈川 BCL」を主宰しており、ハムフェアのクラブブースではたくさんのラジオや受信機を販売しています。ラジオや受信機を求める人たちが常に混雑しているクラブブースでもあります。

現在は、日本無線 NRD-515 をメインに様々な放送局を聞き、放送局へ受信報告書を送る BCL ライフを過ごしています。

連日、受信レポートや終活のためにヤフオクで出品している情報を、「JL1MWI's BCL&HAM Web-log」で紹介しています。是非、ご覧ください。

JL1MWI's BCL&HAM Web-log

<https://jl1mwi.exblog.jp/>

みんなで作る

BCLファンの情報誌 ABC50's

会報へのご投稿を募集しています。

会員以外のみなさまからのご投稿も大歓迎です。

「ABC 50's」では、オープンな形でみなさまからのご投稿を募集しています。

自己紹介や近況報告、またみなさまの日々の活動の様子、研究レポート等、BCLに関することであればなんでも歓迎します。みなさまの気軽な発表の場としてお役立てくだされば幸いです。

「ABC 50's」第14号は2024年3月上旬にPDF版の公開を予定しています。投稿の締め切りは2023年12月31日とさせていただきます。どしどしとお寄せください!!

なお、編集の都合上、下記のようにさせていただきます。

- 1.投稿形式は基本的に1ページ単位のPDF完成原稿とすること。
- 2.原稿はA4縦で作成すること。上下左右15mm以上の余白を推奨。
- 3.合体後にページ番号を振るので、提出するご自分の原稿にはページ番号を付けないこと。
- 4.編集作業の簡素化のため、パイロット版での確認、訂正作業は割愛する。投稿原稿をそのまま利用しますので、誤字・脱字等は自己責任でお願いします。
- 5.読者に不快感を与える可能性があるかと判断した場合、掲載を見送ることをご了承ください。なお、個別に不採用の理由をお答えすることは出来ません。

これからもみなさまに愛される「BCLファンの情報誌」を目指してがんばります。応援をよろしくお願いします。

「ABC 50's」へのご投稿・お問い合わせ・感想は、以下のフォームからお気軽にお送りください。編集部一同、お待ちしております。

<https://www.abc50s.net/mail/editor/>

ABC 50's No.13

秋葉原BCLクラブ 2023年9月発行

みんなのBCLマニュアル 2022-2023

みんなのBCLマニュアル 2022~2023



製本サイズ:A5 ページ数:194 綴じ方:無線綴じ

<第1部読み物>

- ・国内民放中波局返信状況(2022年版)
- ・国内中波放送局ベリカード 2022
- ・国内中波放送局 受信報告書送付先一覧
- ・NHK 中波放送局 受信確認証 発行状況
- ・懐かしのベリカード
- ・国内放送局の現状
- ・民放ラジオ局系列局一覧表
- ・BCL FAQ(よくある質問)
- ・BCLこれだけは知っておこう~BCL 用語集
- ・国内民放中波局受信ガイド☆聞こえなくなる前に
- ・海外日本語放送ガイド
- ・ラジオ沖縄 ROK 技術倶楽部の受信について
- ・B22 海外日本語放送スケジュール
- ・秋葉原 BCL クラブからのお知らせ
- ・あとがき

<第2部資料編>

- ・国内中波局周波数リスト 秋葉原BCLクラブ
- ・国内FM局周波数リスト 秋葉原BCLクラブ
- ・路側ラジオ無線局一覧

製本直送にて好評頒布中!

【製本直送販売URL】

<https://www.seichoku.com/item/DS2004229>



本書は国立国会図書館本館、東京都立中央図書館にて
閲覧が可能です。

秋葉原BCLクラブ

<https://www.abc50s.net/>